



東京都
小金井歯科

高田 尚美
先生

今回のアイテム

プレミス

プレミスを使用して

ダイレクトコンポジット修復はインレーよりも削除量が少ない、セメントラインがない、色合わせがしやすい、1日で処置が終わるなど多くのメリットを持っているため、当院では主に白歯部審美修復の選択肢として、しばしば行っています。

その際、プレミスを使用し
てまず驚いたのは、賦形性の
良さでした。

初めは少し硬いかと思っ



たのですが、慣れてくるとインスツルメントへのべた付きが少なく、良好な使用感があります。

柔らかいレジンだと形成している間に変形してきませんが、プレミスはダレてこないの、解剖学的な隆線や溝が再現しやすく、最終形態に近いところまで形成することができます。

そのため研磨で目減りする分を過剰に付与しておく



必要がなく、硬度も高いので、せっかく作り上げた形態を研磨で損なうこともありません。

また、重合収縮が少ないためか、術後疼痛も極めて少ないようです。

金属インレーなどの詰め替え前に知覚過敏があった患者様が、術後直ぐに違和感が消失したとおっしゃるケースをいくつも経験しております。



またⅢ級の充填では透明度が高すぎるレジンを用いると黒っぽく見えてしまいますが、プレミスボディは一般のレジンに比較して透過性が低いため、こういったことが起こらず、色合わせがしやすいです。

当院のようにレジン充填も自費で行っている医院にとつて、プレミスは他院との差別化ができる格好の材料です。

